

5月8日（木） 済生会総裁 秋篠宮皇嗣殿下に当院をご視察いただきました。

令和7年5月8日（木）のお昼過ぎに、古森院長や北村名誉院長らがお出迎えする中、済生会の総裁である秋篠宮皇嗣殿下が到着されました。古森院長から当院の概要や特徴について説明を受けられた後、病院内をご視察いただきました。



はじめに、2階を訪れ手術室をご視察いただきました。モニターをご覧いただきながら、どのような患者さんを受け入れて手術を行っているかを古森院長からご説明し、新病院で新たに導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ」や「ハイブリッド手術室」についてもご説明しました。



次に透析室をご視察いただき、古森院長と担当看護師長から現在の透析室の状況をご説明しました。殿下からは1回の透析時間等についてご質問がありました。

次に、1階をご視察いただきました。当院の特色である中央の処置室とその周りを取り囲む診察室の配置についてご説明しました。これにより患者さんが複数の診療科を受診する際に、患者さんが移動するのではなく医療者が移動して対応することができるということをご説明しました。殿下はこの配置に興味をお示しになり、患者さんからの評判等についてご質問をいただきました。



次に、8階病棟にご移動いただき、デイルームの大きな窓から外の景色をご覧いただいた後、ミストシャワー浴ができる特殊浴室をご視察いただきました。殿下からは「患者さんはどのようにミストシャワー浴をされるのですか？」というご質問があり、看護部長から「患者さんはストレッチャーに横になったまま入ります。シャワーで髪も洗うことができます。」とお答えしました。

その後、新病院では感染拡大を防止し、また、高齢者に優しい病院となるよう、様々な工夫をしていることをご説明し、陰陽圧可変室をご視察いただきました。



ご視察の最後に、3階のリハビリテーション室をご視察いただきました。殿下からは、リハビリをされていた多くの患者さんにお声かけをいただきました。殿下が「どのくらいの時間リハビリをされているのですか？」とお尋ねになると、患者さんは「1時間から2時間程度行っています。」と答えられていました。

また、屋外でリハビリを行っている患者さんに対しては、「ここではどのようなリハビリをされていますか？」とお尋ねになり、患者さんからは「自宅に帰るために、階段の上り下りの練習をしています。」とのお答えがありました。

殿下には今年の4月に入職したばかりの複数の新人職員に対してもお声かけをいただき、「これからも頑張ってください。」という励ましのお言葉をいただきました。



殿下は、古森院長や北村名誉院長がお見送りをする中、15時過ぎに当院を出発されました。ご出発の際には「いろいろとありがとうございました。」というお言葉をいただきました。

今回のご視察の際には、患者さんだけでなく、職員に対しても直接励ましのお言葉をかけていただき、大変ありがたく、貴重な経験をさせていただきました。

今後とも地域に信頼される病院を目指して職員一同がんばっていくことをあらためて自覚するいい機会になりました。

